

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2020/12/31	2021/1/29	2021/2/5	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	27,444.17	27,663.39	28,779.19	28,979.53	2021/1/14	16,358.19	2020/3/19
NYダウ	ドル	30,606.48	29,982.62	31,148.24	31,272.22	2021/1/21	18,213.65	2020/3/23
円/ドル	円	103.25	104.68	105.39	114.55	2018/10/4	101.19	2020/3/9

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り

～ 企業業績の改善や米追加経済対策の早期成立期待などから、上昇 ～

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+1,115.80円(+4.03%)、TOPIXが+82.17ポイント(+4.54%)となり、企業業績の改善や米追加経済対策の早期成立期待などから、上昇しました。業種別(東証33業種)でみると、空運業、輸送用機器、海運業などの32業種が上昇した一方、食料品の1業種が下落しました。

週初1日は、先々週後半に大幅下落した反動から、上昇して始まりました。その後は、①個人投資家の投機的売買による米国株市場の混雑が徐々に落ち着きをみせたことで、警戒感が後退したこと、②米追加経済対策について、民主党が財政調整法を活用して共和党の支持なしに成立させる手続きを進めていると伝わり、早期の成立期待から米景気回復が加速するとの期待が高まったこと、③日米において新型コロナウイルスの新規感染者数の減少が続いていることなどから、上昇を続けました。4日は利益確定の動きが優勢となり下落しましたが、週末5日は、国内外の10-12月期決算において好業績の発表や21年3月期見通しの上方修正が相次いでいることなどが好感され、上昇して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	期間	前回
2月8日	Mon	日本	景気ウォッチャー調査現状	1月	35.5
			景気ウォッチャー調査先行き	1月	37.1
2月10日	Wed	ドイツ	鉱工業生産(前月比)	12月	+0.9%
		中国	CPI(消費者物価指数)(前年比)	1月	+0.2%
		米国	CPI(除食品・エネルギー/前年比)	1月	+1.6%
2月11日	Thu	中国	春節休暇(17日まで)		
2月12日	Fri	欧州	ユーロ圏鉱工業生産(前月比)	12月	+2.5%
		米国	ミシガン大学消費者信頼感指数	2月	79.0

決算発表予定 他	国内	決算発表 :	2/8 いすゞ自動車、オックス、ソフトバンクグループ、ホシザキ、ユー・エス・エス、住友金属鉱山、大成建設、大林組、太陽誘電、日本新薬、東京センチュリー、浜松ホトニクス、関西ペイント、ハーモニックドライブ・システムズ、パンダイムHD 2/9 サントリー食品、シマノ、ダイキン工業、ケックン、三井化学、出光興産、大和ハウス、大日本印刷、富士フイルムHD、JT、日本マツダHD、日産自動車、旭化成、明治HD、ホンダ、東レ、横河電機、王子HD、資生堂、飯田グループHD、SUMCO、ジェイ・イー・HD 2/10 トヨタ自動車、ナフテコ、パン・ハシワツカ・インターナショナルHD、ビジョン、リンナイ、ルネサスエレクトロニクス、三菱地所、博報堂DYホールディングス、国際石油開発帝石、小田急電鉄、日本ペイントHD、東京海上HD、東京電力HD、東急、ENEOS、GMOヘルシージェットウェイ 2/12 かんぽ生命保険、ゆうちょ銀行、オリス、オープンハウス、ヤマハ発動機、ライオン、住友不動産、光通信、凸版印刷、大塚HD、日本郵政、朝日インテック、東芝、楽天、第一生命HD、近鉄グループHD、鹿島、MS&ADインフラシステムグループHD、SMC、SOMPO、T&Dホールディングス、アサヒグループHD
	海外	決算発表 :	2/9 シスコ・システムズ、ワイッラー、リフト、デューポン・デ・ヌーメル 2/10 ケーバー、コカ・コーラ、ゼネラル・モーターズ、ソシエテ・ジェネラル 2/11 ウォルト・ディズニー・カンパニー、ヘア・ブシコ、グロ・ディ・アグリコル、アストラゼネカ 2/12 アイエスジーグループ

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し

～ 先行きの業績改善期待などから、高値圏で推移 ～

今週の日本株市場は、先行きの業績改善期待などから、高値圏で推移するとみています。

国内企業の10-12月期決算発表では、売上高は前年水準を依然として下回るものの、通期予想を上方修正する企業も多くみられ、業績の底入れから先行きの改善期待が高まっています。今週も大手自動車メーカー等の決算発表が予定されていますが、堅調な内容が確認されれば買い安心感が広がるとみています。また、国内新型コロナウイルスの新規感染者数が逡減していることも、先行きの経済正常化への期待に繋がると考えます。但し、米国の追加経済対策を巡り、民主党は財政調整法を活用した法案成立を検討している模様ですが、9日から予定されるトランプ前大統領の弾劾裁判と合わせて与野党間の関係が悪化し今後見込まれているインフラ投資などの実現性に疑義が生じれば、高値警戒感が意識される中で一旦の利益確定売りが増える可能性には注意が必要と考えています。

その他の注目材料として、日本では、8日の景気ウォッチャー調査、米国では10日のCPI、12日のミシガン大学消費者信頼感指数、欧州では12日のユーロ圏鉱工業生産、中国では10日のCPIが挙げられます。



朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
Asahi Life Asset Management Co., Ltd.  
URL: <http://www.alamco.jp>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第301号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会